

# 四半期報告書

(第96期第3四半期)

自 2020年7月1日

至 2020年9月30日

スタ－精密株式会社

第96期第3四半期（自2020年7月1日 至2020年9月30日）

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用して、2020年11月13日に提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

ス タ ー 精 密 株 式 会 社

# 目 次

	頁
表 紙 .....	1
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移 .....	2
2 事業の内容 .....	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク .....	3
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	3
3 経営上の重要な契約等 .....	4
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等 .....	5
(2) 新株予約権等の状況 .....	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 .....	5
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移 .....	5
(5) 大株主の状況 .....	5
(6) 議決権の状況 .....	6
2 役員の状況 .....	6
第4 経理の状況 .....	7
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書 .....	10
四半期連結包括利益計算書 .....	11
2 その他 .....	14
第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....	15

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月13日

【四半期会計期間】 第96期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）

【会社名】 スター精密株式会社

【英訳名】 STAR MICRONICS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 佐藤 衛

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区中吉田20番10号

【電話番号】 静岡(054)263-1111（代表）

【事務連絡者氏名】 上席執行役員 管理本部長 山梨 正人

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区中吉田20番10号

【電話番号】 静岡(054)263-1111（代表）

【事務連絡者氏名】 上席執行役員 管理本部長 山梨 正人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第3四半期 連結累計期間	第96期 第3四半期 連結累計期間	第95期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	46,564,613	31,640,345	60,651,792
経常利益 (千円)	4,960,905	1,237,689	6,161,247
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 (千円)	3,364,106	607,395	4,053,712
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,213,056	△232,241	4,257,411
純資産額 (千円)	48,691,901	48,624,407	50,789,538
総資産額 (千円)	78,613,328	68,930,507	76,393,781
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	94.02	17.21	113.72
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	82.19	14.62	99.34
自己資本比率 (%)	60.9	69.2	65.2

回次	第95期 第3四半期 連結会計期間	第96期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	26.91	15.24

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により当社グループの業績は大きな影響を受けており、引き続き状況を注視し、対応してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における当社グループの主要関連市場におきましては、世界経済が新型コロナウイルス感染症の拡大により厳しい状況が続くなか、後半にかけて各市場における経済活動の制限は段階的に緩和されつつありますが、POS関連需要は、米国市場は比較的堅調に推移したものの、その他の市場では大幅に減少しました。主力の工作機械の需要も、中国にて回復傾向がみられたものの、その他の市場では大幅に減少しました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は、工作機械の販売が大幅に減少したことから316億4千万円(前年同期比32.1%減)となりました。利益につきましては、売上の減少などにより営業利益は10億1千8百万円(同78.8%減)、経常利益は12億3千7百万円(同75.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億7百万円(同81.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (特機事業)

小型プリンターでは、各市場において新型コロナウイルス感染症による影響を受けるなか、米国市場では、フードデリバリー向けが好調に推移したことなどにより売上は増加しました。一方、欧州市場では市況が低迷し、国内市場では前期の消費増税特需の反動も重なり、それぞれ売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は87億9千3百万円(前年同期比11.7%減)、営業利益は13億1千2百万円(同14.6%減)と減収減益となりました。

#### (工作機械事業)

CNC自動旋盤では、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けるなか、米国市場では販売活動が制限されたこともあり、また、欧州市場および国内市場では低迷する自動車市場向けで後半にかけ回復の兆しがみえ始めたものの、売上は大幅に減少しました。アジア市場では、中国においては、いち早く需要が回復したものの期初の落ち込みを補うには至らず、売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は220億7千1百万円(前年同期比35.5%減)、営業利益は13億6千4百万円(同72.2%減)と大幅な減収減益となりました。

#### (精密部品事業)

時計部品は、腕時計メーカーでの新型コロナウイルス感染症の影響による販売不振を受け、売上は大幅に減少しました。なお、非時計部品は2020年3月末をもって基本的に撤退しました。

以上の結果、当事業の売上高は7億7千5百万円(前年同期比67.3%減)、営業利益は4千2百万円(同62.8%減)と大幅な減収減益となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、たな卸資産や売上債権が減少したことなどにより、前期末に比べ74億6千3百万円減少の689億3千万円となりました。負債は、仕入債務や流動負債のその他が減少したことなどにより、前期末に比べ52億9千8百万円減少の203億6百万円となりました。純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ21億6千5百万円減少の486億2千4百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費の総額は10億6千6百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	158,000,000
計	158,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	45,091,334	45,091,334	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	45,091,334	45,091,334	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### ①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	45,091,334	—	12,721,939	—	3,876,517

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。



## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないため、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 9,802,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 35,249,400	352,494	—
単元未満株式	普通株式 39,034	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	45,091,334	—	—
総株主の議決権	—	352,494	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」には証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

### ② 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) スター精密株式会社	静岡市駿河区中吉田 20番10号	9,802,900	—	9,802,900	21.74
計	—	9,802,900	—	9,802,900	21.74

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,158,296	19,743,849
受取手形及び売掛金	14,390,556	11,965,349
有価証券	500,000	1,795,500
商品及び製品	12,750,263	10,584,050
仕掛品	4,486,083	3,446,448
原材料及び貯蔵品	2,902,351	2,140,965
その他	1,754,218	1,269,787
貸倒引当金	△111,535	△87,081
流動資産合計	56,830,234	50,858,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,580,972	8,128,577
機械装置及び運搬具（純額）	3,326,034	2,706,767
工具、器具及び備品（純額）	1,193,557	1,085,788
土地	2,048,347	1,889,685
リース資産（純額）	101,821	77,597
建設仮勘定	508,204	3,357
その他（純額）	782,401	655,412
有形固定資産合計	15,541,339	14,547,186
無形固定資産		
その他	506,018	452,610
無形固定資産合計	506,018	452,610
投資その他の資産		
投資有価証券	2,239,005	1,940,026
繰延税金資産	923,331	789,556
その他	353,852	342,258
投資その他の資産合計	3,516,189	3,071,841
固定資産合計	19,563,547	18,071,638
資産合計	76,393,781	68,930,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,290,386	3,129,548
電子記録債務	2,961,364	993,205
短期借入金	2,500,000	2,500,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	8,010,666
リース債務	34,817	30,483
未払法人税等	709,354	238,046
賞与引当金	768,557	510,442
役員賞与引当金	—	6,000
その他	4,664,541	3,464,297
流動負債合計	15,929,021	18,882,692
固定負債		
新株予約権付社債	8,022,666	—
リース債務	76,359	54,258
退職給付に係る負債	922,823	818,827
その他	653,372	550,322
固定負債合計	9,675,221	1,423,408
負債合計	25,604,243	20,306,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	13,050,481	13,054,982
利益剰余金	38,541,041	37,173,380
自己株式	△12,144,398	△12,096,260
株主資本合計	52,169,063	50,854,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,639	20,754
為替換算調整勘定	△2,571,586	△3,314,775
退職給付に係る調整累計額	111,986	106,373
その他の包括利益累計額合計	△2,343,960	△3,187,647
新株予約権	421,487	411,014
非支配株主持分	542,947	546,997
純資産合計	50,789,538	48,624,407
負債純資産合計	76,393,781	68,930,507

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	46,564,613	31,640,345
売上原価	29,185,249	20,856,117
売上総利益	17,379,363	10,784,227
販売費及び一般管理費	12,567,342	9,765,947
営業利益	4,812,021	1,018,280
営業外収益		
受取利息	146,052	119,819
投資有価証券評価益	76,070	—
為替差益	—	28,339
受取賃貸料	38,619	31,695
雑収入	111,461	151,141
営業外収益合計	372,203	330,995
営業外費用		
支払利息	8,139	13,067
投資有価証券評価損	—	36,140
持分法による投資損失	5,290	42,107
為替差損	188,561	—
雑損失	21,328	20,271
営業外費用合計	223,319	111,585
経常利益	4,960,905	1,237,689
特別利益		
固定資産売却益	34,328	143,935
減損損失戻入益	236,074	—
特別利益合計	270,403	143,935
特別損失		
固定資産処分損	117,977	36,666
減損損失	239,772	—
事業構造改革費用	471,384	—
特別損失合計	829,133	36,666
税金等調整前四半期純利益	4,402,175	1,344,959
法人税、住民税及び事業税	1,477,130	590,293
法人税等調整額	△147,556	127,265
法人税等合計	1,329,574	717,559
四半期純利益	3,072,601	627,400
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△291,505	20,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,364,106	607,395

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,072,601	627,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415	△94,884
為替換算調整勘定	△970,981	△761,780
退職給付に係る調整額	122,183	△5,613
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,332	2,636
その他の包括利益合計	△859,545	△859,641
四半期包括利益	2,213,056	△232,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,521,941	△236,291
非支配株主に係る四半期包括利益	△308,885	4,050

【注記事項】

(追加情報)

(会計上の見積りの不確実性に関する追加情報)

当社グループの主要関連市場におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などによる需要の減少が当連結会計年度中は続くことを想定しております。

また、当連結会計年度末に向けて感染拡大の影響が収まり需要が徐々に回復し、翌連結会計年度より新型コロナウイルスの感染拡大前の状況に戻るとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、第2四半期連結会計期間から重要な変更はありませんが、この仮定は不確実性が高く、収束が遅延し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	1,750,501千円	1,671,627千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	968,276	27.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年8月9日 取締役会	普通株式	1,005,791	28.00	2019年6月30日	2019年9月6日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式680,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が999,943千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が12,995,969千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 取締役会	普通株式	986,981	28.00	2019年12月31日	2020年3月12日	利益剰余金
2020年8月11日 取締役会	普通株式	988,074	28.00	2020年6月30日	2020年9月4日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	特機事業	工作機械 事業	精密部品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,956,039	34,240,073	2,368,500	46,564,613	—	46,564,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,956,039	34,240,073	2,368,500	46,564,613	—	46,564,613
セグメント利益	1,537,317	4,914,644	114,945	6,566,908	△1,754,886	4,812,021

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用の主なものは、当社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	特機事業	工作機械 事業	精密部品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,793,279	22,071,612	775,453	31,640,345	—	31,640,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,793,279	22,071,612	775,453	31,640,345	—	31,640,345
セグメント利益	1,312,896	1,364,450	42,730	2,720,076	△1,701,796	1,018,280

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。全社費用の主なものは、当社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	94円02銭	17円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	3,364,106	607,395
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	3,364,106	607,395
普通株式の期中平均株式数(株)	35,782,646	35,283,815
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	82円19銭	14円62銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	△19,649	△19,633
(うち受取利息(税額相当額控除後)(千円))	(△12,000)	(△12,000)
(うち事務手数料(税額相当額控除後)(千円))	(△7,649)	(△7,633)
普通株式増加数(株)	4,908,289	4,923,657
(うち新株予約権付社債(株))	(4,746,366)	(4,771,276)
(うち新株予約権(株))	(161,923)	(152,381)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	第13回通常型新株予約権(株式の数161,000株)	第10回通常型新株予約権(株式の数120,700株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年8月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………988,074千円

(ロ) 1株当たりの金額……………28円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………2020年9月4日

(注) 2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

スター精密株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 酒 井 博 康 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 嶋 田 聖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスター精密株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スター精密株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。